

野毛大塚古墳(世田谷区)

前方の木々の所が玉川野毛町公園



テニスコートの上に野毛大塚古墳と記されている



玉川野毛町公園 案内図



テニスコートの向こうが野毛大塚古墳





大塚古墳の標柱がある



墳頂を見る



裾を見る



右手に回ってみる



都史跡 野毛大塚古墳とある





東京都指定史跡

野毛大塚古墳

所在地 世田谷区野毛一―三六
指定 昭和五十年二月六日

野毛大塚古墳は全長八メートル、後円部の高さ一〇メートルの帆立貝式の前方後円墳で、前方部に近接して小さな造出部が付設されている。墳丘の周囲には馬蹄形の周濠が掘られており、周濠を含めた全長は一〇四メートルである。三段に構築された墳丘は全体が河原石で覆われ、円筒埴輪がそれぞれの段にめぐらされている。

後円部頂上には四基の埋葬施設があり、中央に粘土に包まれた割竹形木棺、南東側に箱式石棺、北西側に二基の箱形木棺が納められている。割竹形木棺からは甲冑、刀剣、鉄鏃などの武器・武具類、鉄鎌、銅鏡、銅釧、玉類、石製模造品、豎櫛などが、箱式石棺からは刀剣、鉄鏃、玉類、石製模造品などが、二基の箱形木棺からは、刀剣、鉄鏃、鉄鎌、石製模造品、玉類などがそれぞれ出土している。

野毛大塚古墳は関東地方の中期古墳文化を代表する五世紀前半に築造された古墳である。出土した多量の武器・武具類や石製模造品は、この古墳が南武蔵の有力な首長墓であることを示している。

平成五年三月三十一日 建設

東京都教育委員会

文化財を大切にしましょう

円筒形埴輪が配されている



三段に構築された墳丘



帆立貝形がみてとれる



周囲に馬蹄型の堀が巡らされている





墳頂に説明板が見える







反対側にも階段があり、ここから登ってみる



境頂に立つ



足元の印は四基の埋葬施設を示す



墳頂から帆立貝形を見る





境丘を下りる









インターネットより

参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/tokyo/23ku/noge.html>

<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/030/d00016662.html>

http://inoues.net/ruins/noge_ohtsuka.html

<http://kofunnomori.web.fc2.com/tokyo/seta/noge.htm>

<http://marukokawa.exblog.jp/1246804/>